

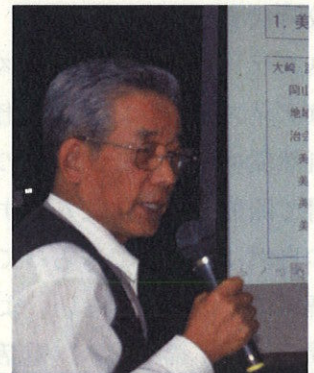
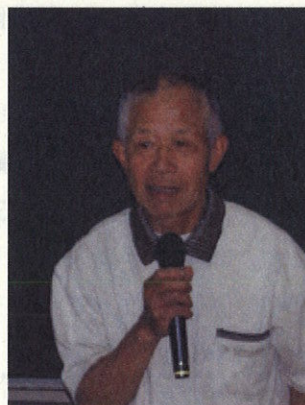
田舎暮らしのみちしるべ

E-mail chiiki@city.iwakuni.lg.jp

第 11 回 IJU（移住）応援団交流会 in 美川

【第 11 回 IJU 応援団交流会を開催いたしました】

平成 25 年 6 月 27 日（木）美川町根笠出張所（根笠林業センター）で東谷さぬきパーク会長三浦篤 IJU（移住）応援団主催にて開催されました。今回は初めて美川地区での開催で、美川自治会連合会会長、副会長を自治会代表として出席をお願いいたしました。移住体験者、行政関係者、新任の集落支援員、また、緑のふるさと協力隊員も初めて参加いただき、25 名のご参集をいただきました。会を重ねるごとに活発で将来を見据えた貴重な意見交換会になりました。開催地の IJU（移住）応援団さん、総合支所の方には入念な準備と前日までの大雨もあがり、川のせせらぎの音の心地よい環境で、朝 10 時から午後 2 時 45 分まで、昼食をはさみあつという間の一日でした。日頃、地域の活性化に努力している皆様の貴重な意見が聞けました。当日は美川のあゆみについて大崎潔美川自治会連合会会長より、次に開催地根笠についての升田清甫美川自治会連合会副会長より紹介があり、また、美川東谷さぬきパークでの 10 年にわたる蕎麦栽培・そばつくりを通じての地域の活性化を三浦篤 IJU（移住）応援団より紹介されました。



左上は参加者集合写真、左下は三浦氏挨拶、発表者（右上升田氏、右下大崎氏、下中央三浦氏）。

【美川地区の紹介】美川地区はかつて鉱山を主に栄え、人口も 9000 人を数えた。今では7分の1に減ったが、鉱山跡地を利用し、地底王国ムーバレー、昔からの岩屋観音窟に加え観音大水車がかまろくん、根笠川の溪流を活かした親水公園などがあり、錦川の鮎釣りとともに美川の自然を満喫できる地域です。

【IJU（移住）応援団交流会意見交換会】 主として定住促進とそれを支援する空き家制度の充実について活発な意見交換されました。出された意見は以下のようなものでした。定住促進には、地域の魅力を育てる努力が大切。U ターン促進にもっと注力すべき。田舎暮らしにあこがれる若者は少なくないが、田舎に同年代が少ないのではとの不安を持っているので、実際に何らかの機会に田舎の経験をしてもらうのが良いのでは。中山間地域に若手の移住を希望するが、生活できる手立てが必要。専業農家以外、街に仕事にでるのも選択肢ではないか。10年後の集落の姿を想定し、努力を継続的に行う必要がある。空き家は沢山あるが、長年放置され改修に手がかかる、一人暮らしが多い現状では、今後空き家が増える一方。使える時期に活用することを促進できないか。本格的に田舎暮らしをしたい人が宅地建物、田畑取得する場合の農業実績要件の見直しや空き家修繕補助として特に若者に配慮して欲しい。空き家を売却した時の控除額の増額も復活できないか。

夏の夜のイベント紹介

7月27日（土）土曜夜市（玖珂町）

16:00～ 玖珂小学校

夜～遊びフェスタ（錦町）

17:00-21:30 錦ふるさとセンター

山代夜市（本郷町）

18:30-21:30 本郷きらめき交流プラザ

8月3日（土）美川サマーフェスティバル（美川町）

9:30-14:30 美川ムーバレー親水公園付近

8月15日、19日、23日祖生の柱松（周東町）

15日中村地区、19日山田地区、

23日落合地区。 いづれも 20時から。

夏
も
涼
し
い

地底王国美川ムーバレー（夏は涼しい地底探検）

電話 0827-77-0111

寂地峡キャンプ場（錦町 多くに滝とキャンプ場）

電話 0827-74-0776

清流の郷（錦町 宇佐川と温泉と愛犬とログハウス）

電話 0827-74-5100

岩国市の島 柱島群島の紹介

岩国市は 1000mを越す錦町の寂地山から宇佐川、錦川を経て瀬戸内海に至る大きな市です。柱島群島はこの瀬戸内海にあり、そこでの釣りが9、10月までお楽しみいただけます。

岩国港（新港）より毎日3便土日は4便、約1時間の所要時間です。

現在、柱島漁協主催で4つの遊漁釣り体験コースを開催しています。

1. 雑漁遊漁船 10月まで開催、定員5名
2. 鯛網遊漁船 9月まで開催、定員6名
3. 建網遊漁船 9月まで開催、定員4名
4. 地引網 9月まで開催、定員約30名

現地旅館 5軒あり

問合せ先：柱島漁業協同組合

電話 0827-48-2002

ピックアップ（地域で活躍する人を紹介します）錦パレス支配人の吉本辰夫さんです。

高校時代まで錦町で過ごし、その後学校を卒業後、関東圏でスポーツクラブ、フィットネスクラブを経営する総合スポーツ会社を始め、インストラクターや市営温水プール、東京ディズニーランドへの出向の経験も経て、40歳の時に地元に戻りました。温泉・錦の自然環境を活かし、地域のお年寄りを対象に「山代健康大学」を各方面の関係者の支援を得て開催し5年になります。最近では「里歩き知る見るマップ」を作成し、幅広い方に錦の自然に親しんでもらっています。昨年より酒米づくりから始め、出来た酒米を地元の酒蔵に仕込んでもらい、より錦町の価値を知ってもらうための取り組みも始めました。

問合せ先：錦パレス 電話 0827-73-0211、憩の家 電話 0827-73-0236



山代健康大学での
吉本辰夫氏

事務局からのお願い

空き家は放置年数が長くなるほど修理箇所が多くなり、活用しにくくなります。放置せずに地域の活性化に活用できるようにUJI ターン促進事業の活用を検討ください。